

2021年7月14日

## つくば健康生成職域コホート調査研究

(T-SOCS: Tsukuba Salutogenic Occupational Cohort Study)

(旧：生活環境・職場ストレス調査)

## 実施に向けたWG概要

つくば健康生成職域コホート調査研究 検討WG 2021年4月1日現在

代表	松崎 一葉	筑波大学医学医療系 教授
メンバー	笹原 信一郎	同准教授
	斎藤 環	同教授
	大井 雄一	同助教
	道喜 将太郎	同助教
	堀 大介	同助教
	高橋 司	同助教
	影山 隆之	大分県立看護科学大学専門看護学講座 教授
	高尾 総司	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 講師
	森田 えみ	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 准教授
	友常 祐介	(株)小松製作所 産業医
	中川 巧	文部科学省・研究交流センター所長
	齋藤 航	つくば市科学技術振興課
	大滝 優	NTT データ 産業医
	白木 渚	農業・食品産業技術総合研究機構 産業医
	駒瀬 優	東京大学大学院医学系研究科
	池田 朝彦	筑波大学大学院人間総合科学研究科
	池田 有	同研究科
	新井 陽	同研究科
	室井 慧	同研究科
	石塚 真美	筑波大学人間総合科学学術院
	佐々木 寛明	同学術院
	中村 元	同学術院
	松浦 麻子	同学術院
	呉 移	同学術院

## 1. WG からの前回および今回の提案事項

2020年2月に開催された労働衛生専門委員会において、2021年度に実施予定のつくば健康生成職域コホート調査研究（旧：生活環境・職場ストレス調査）実施に向けた検討内容を報告した。今回は2020年から2021年にかけてのWGでの検討内容を報告する。

### 前回（2020年2月の提案内容）

調査研究継続のテーマ：『世界最先端となる自殺ゼロ都市』を目指す

サブテーマ；健康生成論を活かして、『健やかに働ける街づくり』

継続の意義：時代に伴って筑波研究学園都市で働く人々を取り巻く環境は変遷していく。昭和・平成・令和にまたがって、設計や方法を刷新しながら調査研究を継続していくことで、つくば市の労働衛生に関する今後の指針を定めていく基礎データとなる。参加機関へのフィードバックの機会を充実させ、産業保健の日々の実践に役立ててもらおう。さらに我が国の労働者を取り巻く自殺やメンタルヘルス不調といった諸問題に関し、最先端の予防対策を発信していく。

### 今回（2021年7月の提案内容）

前回のWG提案が労働衛生委員会で承認されたことを受けて、調査名を“生活環境・職場ストレス調査”から“つくば健康生成職域コホート調査研究”とし、内容が変わったことを明確に示した。また、参加機関の職員に直接内容と異議を理解してもらい調査参加への協力を得やすくするため、常設されるホームページを通して広報の強化を図ることが必要と考えられた。さらに、参加機関への調査結果のフィードバックとしてホームページを活用するとともに、引き続き意見交換会などでのフィードバックの機会を継続していくことが有用と考えられた。

## 2. 2020年～2021年のWG開催概要

### 第19回 2020年1月29日 於・筑波大学

2020年8月に予備調査を行う予定とし、実施を依頼する参加機関を決定した。プレゼンティズム測定の質問紙を検討し、WLQに関して著作権元に問い合わせることとした。

### 第20回 2020年3月11日 於・筑波大学

プレゼンティズム測定について引き続き検討した。WGメンバーの堀大介、駒瀬優より職場の感謝尺度質問票に関する提案があった。調査研究のためのメールアドレスの発行が報告された。

### 第21回 2020年4月8日 於・筑波大学

プレゼンティズム測定はWfun (<http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/kosyueis/wfun/>) を使用することとした。毎年春に委員会を開催するのが通例であったが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、開催が見送られる方向性にあることを確認した。

### 第22回 2020年5月20日 於・筑波大学

第7回生活環境・職場ストレス調査のデータを用いた学術発表について報告があった。オンラインアンケートツールとしてサーベイモンキー (<https://jp.surveymonkey.com/>) の使用していく方向で検討した。予備調査の質問票について検討した。

### 第23回 2020年6月23日 於・筑波大学

2020年度予備調査の実施に向け、対象期間に依頼をかける段取りが検討された。新型コロナウイルス感染症に関する質問を入れ込むことを検討した。筑協事務局に契約を進めていただくこととした。

#### 第 24 回 2020 年 7 月 15 日 於・筑波大学

筑協の改組、および労働衛生専門委員会が労働衛生委員会として課題解決型委員会に新たに位置づけられたことが確認された。2020 年度予備調査のスケジュールを確認した。2021 年度に実施するコホート調査の追跡方法について検討した。

#### 第 25 回 2021 年 1 月 20 日 於・筑波大学

2020 年 11 月に参加機関 A で、2021 年 1 月に参加機関 B で予備調査が実施されたことが確認された。予備調査の報告書の作成について検討した。予備調査では有効回答率が低く留まったため、2021 年度コホート調査に向けた広報の在り方など有効回答率を高めるための工夫について検討された。

#### 第 26 回 2021 年 2 月 24 日 於・筑波大学

2021 年 2 月 15 日に事務局一委員会で連絡会が実施され、2021 年度の労働衛生委員会や意見交換会が 5 月に開催される方向性であることを確認した。予備調査の報告書をそれまでにまとめることとなった。2021 年度コホート調査に向けたスケジュールについて検討した。

#### 第 27 回 2021 年 4 月 21 日 於・筑波大学

2020 年度予備調査の報告書（案）が確認された。2021 年度コホート調査の方法について検討した。2021 年 5 月に開催される意見交換会の内容について確認された。

### 3. 予算編成

外部委託ではなくオンラインアンケートツールを使用することにより、従来の 80%程度  
の予算規模で効率的・効果的に実施していく。

	2020年度	2021年度	2022年度	合計
	決算内訳	支出予算内訳	支出予算内訳	
オンラインアンケートツール契約料	¥ 175,000	¥ 175,000	¥ 175,000	¥ 525,000
質問紙著作権所有者への支払い	¥ 33,000	¥ 33,000	¥ -	¥ 66,000
振込手数料	¥ 14,050	¥ 14,050	¥ 14,050	¥ 42,150
報告書作成費・広報費	¥ -	¥ 441,500	¥ 97,950	¥ 539,450
通信費	¥ -	¥ 5,500	¥ 5,500	¥ 11,000
雑費	¥ -	¥ 10,900	¥ 5,500	¥ 16,400
計	¥ 222,050	¥ 679,950	¥ 298,000	¥ 1,200,000

### 4. 今後のスケジュール案

- ・2021年度 夏 広報の在り方について検討
- ・2021年度 秋 T-SOCS 第1回調査 実施
- ・2021年度 冬 T-SOCS 第1回調査 報告書および学術発表について検討
- ・2022年度 春 T-SOCS 第1回調査 報告書公表

以上に平行して、2024年度実施予定の T-SOCS 第2回調査について検討していく。

以上